



新 牛久ごみ ニュース

牛久市のリサイクルルール（ペットボトル編）

増加し続けているペットボトルの排出量
 ペットボトルは、軽くて丈夫な特徴を生かし、缶やびんにかわって年々増加している容器です。生活に便利なペットボトルの排出量の増加がこのまま続いても環境への問題はないのでしょうか。

☆ペットボトルのリサイクルとは？

ペットボトルとは、PET（ポリエチレンテレフタレート）という樹脂で作られたボトルのことをいいます。日本では昭和52年にしようゆ容器として初めて採用され、その後、清涼飲料容器として需要が急激に増加しています。市で回収したペットボトルは、圧縮してから再生工場へ運ばれ、再生工場ではそれを洗



し、主に繊維などにリサイクルしています。

☆ペットボトルの利点と問題点

ペットボトルは軽くて割れにく

く、生産コストが安いことなどから、ガラスびんや缶にかわって大量に消費されています。しかし、その反面、かさばることから回収コストが高くなり、リサイクルするほどお金がかかっているのです。このため、外国に資源として売却する事例が増えており、貴重な資源を海外に流出させている事態となつていきます。資源の海外流出は国内のリサイクルルートを崩壊させ、循環型社会構築に向けて大きく後退する危険性を含んでいます。そうならないようにするためには、私たちもペットボトルの使用だけに偏らず、環境に配慮した商品を率先して利用する必要があります。

☆ペットボトルのリサイクルで注意すること

次の点に注意して分別し、外したキャップやラベルは「燃えるごみ」としてお出しく下さい。ペッ

トボトルの容器には左記の表示があり、そのほかのボトルとは区別されているので注意が必要です。



～ペットボトル分別のポイント～

対象	・食料用・飲料用のみ
注意点	・キャップやラベルを必ず外す ・中身を使い切って水でゆすぐ

市では、プラスチックごみとして白色トレイと発泡スチロールを回収しています。次回はプラスチックごみの内容とルールについてお知らせします。

マイバッグ運動を始めましょう！



10月1日から、県下一斉にマイバッグ運動を行っており、牛久市も参加しています。マイバッグ運動とは、自分でバッグを持参してお店からもらえるレジ袋を削減するための行動をいいます。たかがレジ袋、ですが一人ひとりが毎日実施すれば、地球温暖化防止やごみ減量にもつながる行動になります。ぜひ皆さんもお気に入りのマイバッグで買い物に行きましょう。

問い合わせ 市清掃施設課 ☎ 873・2111 内線 1571～1572